

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年12月17日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	前橋市役所	代表者名	山本 龍
担当者部署	未来創造部	連絡先電話番号	027-898-5883
担当者役職	副主幹	担当者氏名	神保 明彦
住所	371-8601 群馬県前橋市大手町二丁目12番1号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	「DXで変える・変わる、自治体の新しい仕事の仕方」と題し、大所高所から未来に対するご知見や、自治体における実務者としての話を踏まえたご講演をいただきました。応募の目的である「職員の目線を上げ、変革の契機とすること」が十分に達成できたと考えております。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年12月16日	13時00分	15時40分		160
3-2. 派遣場所	会場名	前橋市役所	最寄駅	前橋駅	
	所在地	前橋市大手町二丁目12番1号	最寄駅からの交通手段	徒歩	
	派遣形態	支援・助言(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 職員	人数 50人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) WGは、現在、市役所職員のみで運営していますが、計画のビジョン「デジタル技術とデータの活用を推進し、住民本位の行政及び地域社会を実現する」ことを鮮明に描き、自分の仕事に落とし込んでいく必要があります。市内部の自発的活動では、そのためのノウハウが不足していますので、外からの視点や未来に対する知見をご提供いただくことで、職員の目線を上げ、変革の契機とさせていただきます。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員の啓発(職員の目線を上げ、変革の契機とすること)	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	以下内容等により、外からの視点や未来に対する知見をご講義いただいた。 ・自治体業務改革の本当の意味とその着手 ・自治体業務デジタル化の方向性 ・自治体が手続きのオンライン化を進める理由 ・自治体DXに欠かせない視点	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	講義内容を踏まえ、参加者間において、自身の内面の変化、新たな視点・アイデアなどを共有することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 市職員向けの講演であり、受講後アンケート結果の利用想定がなかったため。(質疑応答は支援時間内で済んでいます。)	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	前橋市DX推進計画に掲げる重点事業の達成	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

